

静岡分苑だより 2022 6月 臨時号



昨年このはなざくら御下付の御礼の折、茶杓をご下付して下さるといってお言葉を頂きました。「茶杓筒等に名を書き整えておきますから後日取りに来てください」ということで、この度5月21日(土)梅松館にて分苑代表4名ご面会させて頂きました。

その御茶杓は、長生殿木の花桜にて作られ、名は「芙蓉」です。

和やかに歓談させて頂き、分苑の木の花桜の話題になり、「山本神苑課長から今年は花よりも木を丈夫に育てる為に、あまり花を咲かせないほうが良いとお聞きしていたので花はまだ見られないかと思っていましたが、少しですが咲いてくれていて皆喜んでいました。」とお伝えしました。その時の木の花桜と富士山の写真をプレゼントしました。

また、春季大祭の時に木の花桜に献茶させて頂きましたと齋藤直心会会長がお話しし、写真を見て頂きました。「八足立てて献茶してくれたんですね。」と大変喜んでくださり「お茶碗もあげるわ、これは献茶用やで」とこの春窯出しされたお茶碗の中から、金竜海土長生殿木の花桜釉のお茶碗を撰んで御下付してくださいました。

あまりの展開に皆顔を見合わせ戸惑いながらも喜びが溢れて「ありがとうございます」自然に声が揃いました。

最後に「分苑に来て楽しかった、分苑に来て良かった、と言って喜んで参拝してくれる静岡分苑にしてください」とお言葉をいただきました。

いつも静岡分苑のこと、私たち信徒のことを心に留めていてくださる教主様に感謝して、月次祭、研修等実践していきます。

多くの方に参拝、参加して頂き、良き言葉良き行いがつもり積もって、分苑に、各家庭に明るく暖かい光の環が広がりますように。

令和4年 6月
静岡分苑長 谷田新樹